

チャレンジレベル	I	II	III	IV	V			
					前期	後期		
	看護実践に必要な基本的能力を習得する	①根拠に基づいて看護を実践する ②後輩と共に学習する	①個性性を重視した看護実践をする ②看護実践者として、後輩に支援的役割を果たせる	①後輩の学習を支援する ②チームリーダーとしての役割行動がとれる	専門性の発揮、管理・教育役割モデルとなり、研究的に取り組む		●レベル別 必須研修	
6つの能力	学習・実践の内容	学習・実践の内容	学習・実践の内容	学習・実践の内容	学習・実践の内容		キャリアラダー	
I. 高度な専門的知識・技術を有し、主体的に実践できる	●基本的なフィジカルアセスメント ●急変時の対応 OJT ○人工呼吸器 ●KYT OJT ○看護技術研修 ○各部門・部署の役割 ○医療安全研修		●個性性を尊重した看護の実践 OJT		eラーニング		新採用者研修	
II. 高い倫理観に基づいた、質の高い看護が提供できる	●倫理研修 ～患者の権利～	●倫理研修 ～看護師が直面するジレンマ～	●倫理研修 ～倫理的課題の提案とカンファレンスの実施～ OJT	●倫理研修 ～倫理的課題への取り組み～ OJT				役割別研修
III. 多職種と協働し、看護の役割を発揮する	●多重課題 OJT ●メンバーシップ OJT	●リーダーシップ（概論・役割実践）	●日々リーダーの役割 OJT	ファシリテーションスキル				トピックス研修
IV. 病院経営に参画でき、看護マネジメントができる		●経営参画 （保健医療福祉提供システムについて）	●経営参画 （診療報酬と自部署の看護の位置づけ） OJT	●経営改善 OJT			●SWOT OJT ●医療安全 OJT ●災害 OJT	OJT
V. 後輩と共に学び合い、自立した看護職になる	●リフレクション （3か月・6か月・1年の歩み）	●後輩支援（導入）	●後輩支援 （コーチング・アサーション）	●看護を語ろう OJT				
VI. 臨床研究ができる能力を有し、看護を創造する		●ケーススタディ （導入・発表）	○看護研究の取り組み					
○病院・看護部の目標・経営状況 ○フィジカルアセスメント ○院外研修伝達講習 ○専門研修								
○プリセプター研修 （3か月・6か月・1年の振り返り） ○支援看護師研修（3か月・6か月・1年の振り返り） ○固定チームリーダーの役割 OJT								